

ら は た 訪 探 歴 史 72 其の クラブ

TAHARA
History Inquiry
Club

家康と渥美半島

～ 田原に残る伝説 ～

家康が渥美半島を訪れたのは田原城攻め、巻狩りで、その際の記録が残り、伝説も伝わっていますが、それ以外の伝説も残っています。

車止めの桜（加治町浄光寺境内）
あまりにもみごとな桜だったため、家康が車を止め、これを鑑賞し御朱印を賜った。

弁天の松（田原町城宝寺境内）
弁財天（城宝寺古墳に立つ）の横に松があり、家康が難を逃れて田原に來たとき、この松に舟をつないだという。

鷲川池の芹（神戸町鷲川）
この池の芹は美味で、家康が摘まれた。

栗喰縄手（野田町）
家康が野田町運昌寺へ來たとき、お茶菓子に「勝ち栗」をあげたことにちなむ。

家康お手植えの松（野田町運昌寺）
運昌寺の大松ともいう。13号台風で弱り、伊勢湾台風で枯れた。

矢引き岩（野田町細法）
家康がこの岩の上から矢を引いたといわれる。らくだ山（運昌寺北の山）中腹にあったという。

お茶屋（野田町）
雲名地区にある。「能き酒井戸」ともいい、この井戸の水で家康にお茶を献上したと伝えられる。

しゃもじ山（野田町細法）
運昌寺で家康をもてなしたお礼に、寺の者に何が欲しいといわれた際に「まきを探る山が欲しい」としやもじで指し示したことから、運昌寺の裏山を「しゃもじ山」と呼ぶようになった。

上代古釜（野田町細法）
運昌寺で家康に茶を飲ませたときに使った釜。

家康公の腰掛石（野田町細法）
運昌寺裏山にあるという。



家康伝説が多く残る運昌寺。背後は通称「しゃもじ山」

西円寺の井戸（野田町西ひるわ）
西円寺はかつて赤羽根町、竜ヶ原にあって、家康が比留輪原巻狩りの際に、その水でお茶を立てた。



家康が巻狩りをした比留輪原（芦ヶ池南の台地）

特に野田町の運昌寺には、家康が訪れたことが伝えられ、それに伴う多くの伝説が江戸時代の奉行の記録や言い伝えとして残っています。これらの話は『田原町史』、『野田町史』などに載っています。

次回は旧渥美町に残る伝説と、家康を祀る田原市内の東照宮についてのお話です。（増山）

文化財課 23局3531